

無限 MUGEN

70020-XN5B-K0N0

N-ONE ROLL CAGE KIT(6P)

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認してください。
※本書の作業内容は、自動車整備士及び整備についてある程度の知識を持った方を対象としています。
経験のない方のみでの組み付け作業は、ケガや事故または走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険ですので絶対に行わないでください。
2. 本製品は、ホンダ N-ONE FF車(6BA-JG3)への装着を目的として保安基準に適合する仕様で開発された商品です。適合車種に正しく装着された場合は、改造申請は不要ですので装着したまま車検を受けられます。
3. 本取扱説明書 Ⅲ. ロールケージの装着、1. ロールケージの仮組み(8)の作業については、保安基準(直接視界に係る協定規則)に関する確認作業となりますので必ず実施の上、本製品の装着を行って下さい。
4. 本製品の取付けは、必ずナンバー取得後に行ってください。
5. 本製品の取付けに伴い、カーテンサイドエアバッグ（装備車）、及びシートサイドエアバッグ（装備車）は使用が出来なくなります。エアバック機能の有無により、任意保険の補償内容が変わる場合がございますので、ご契約の保険会社にて補償内容をご確認下さい。
6. 本製品の取付けに際し、一部内装部品の取り外し、カット加工が必要になります。
7. 純正パーツの取付け、取外しの詳細は、サービスマニュアルに従って作業を行ってください。
8. 本製品は、新車の車体を基準に作られております。故に事故車両やひずみ、ゆがみがある車体には取付けが困難な場合がありますのでご注意ください。
9. 本製品の加工、組付け不良、誤使用による不具合、事故等については、弊社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。
10. 別添「ロールケージ保安基準適合資料」は、本製品の保安基準に関する資料とし車検継続検査時等に必要となる場合がございます。お客様にて車両に携行し保管して下さい。

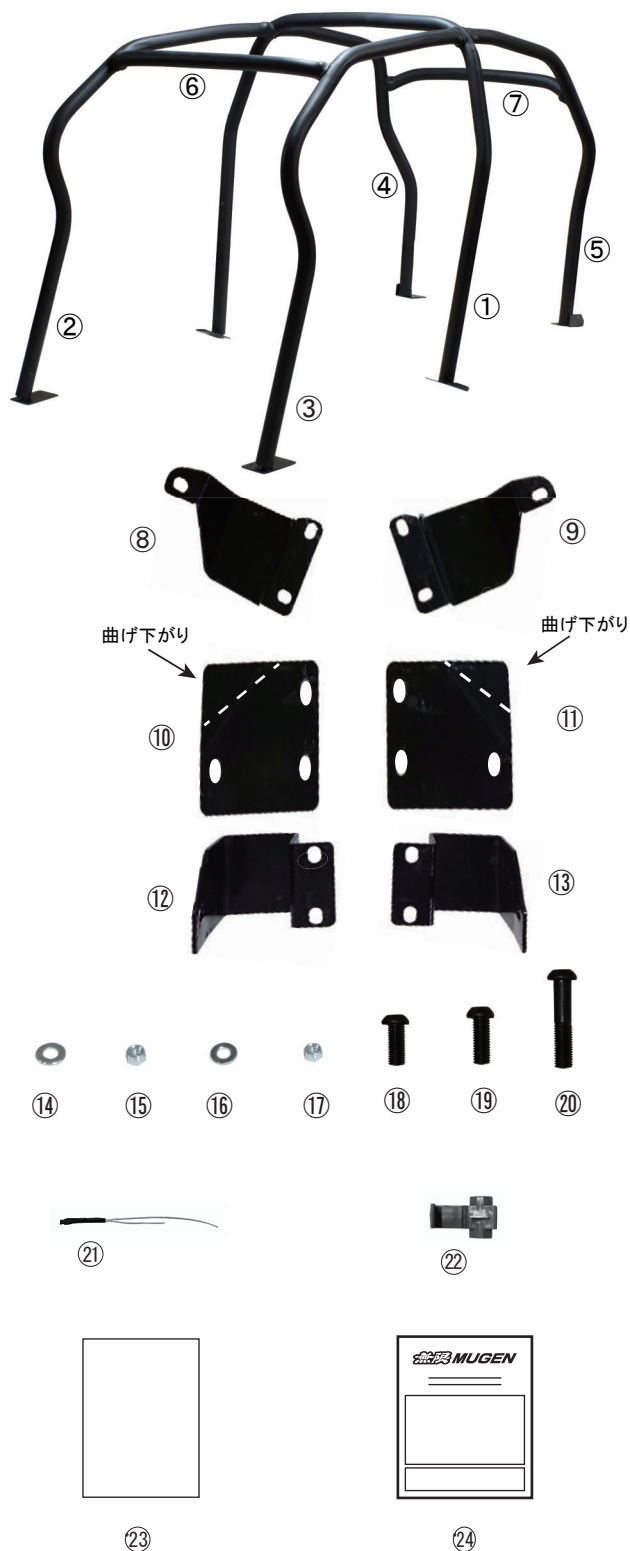
ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11
株式会社 M-TEC 商品事業部 MS企画業務課
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121
【営業時間 10:00～17:00(土日・祝日除く)】

【部品表】

キット品番

70020-XN5B-K0N0



NO.	品 名	QTY
①	メインフレーム	1
②	フロントサイドフレーム 右	1
③	フロントサイドフレーム 左	1
④	リアサイドフレーム 右	1
⑤	リアサイドフレーム 左	1
⑥	フロントアッパーフレーム	1
⑦	リアアッパーフレーム	1
⑧	補強板 A 左	1
⑨	補強板 A 右	1
⑩	補強板 B 左	1
⑪	補強板 B 右	1
⑫	補強板 C 左	1
⑬	補強板 C 右	1
⑭	M10 平ワッシャー	8
⑮	M10 Uナット	8
⑯	M8 平ワッシャー	36
⑰	M8 Uナット	18
⑱	六角穴付ボタンボルト M8×25	16
⑲	六角穴付ボタンボルト M8×30	2
⑳	六角穴付ボタンボルト M10×55×26	8
㉑	ワーニングランプキャンセラー	4
㉒	コネクタ	8
㉓	型紙セット	1
㉔	取扱説明書	1

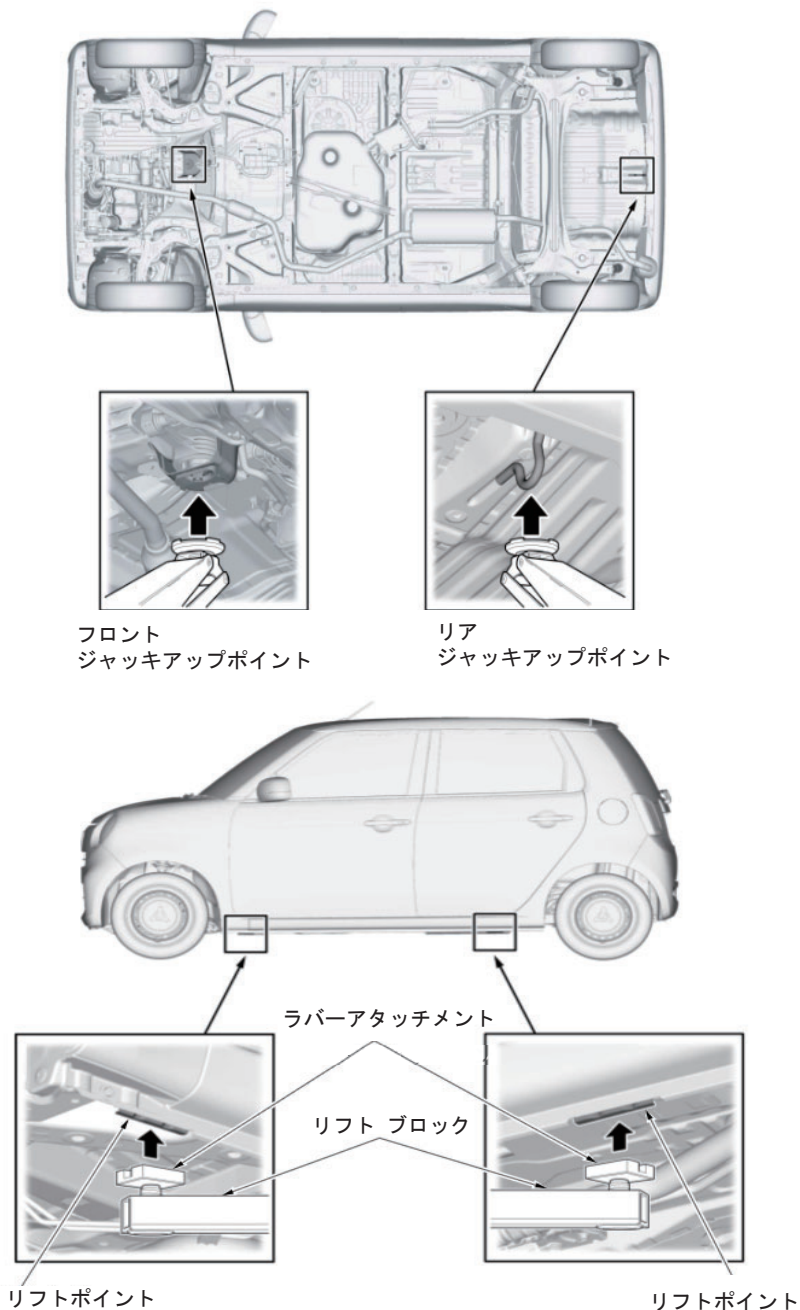
【推奨】

本製品の取付けには影響は及ぼしませんが、下記作業は本製品取付け後の作業が困難なため、同時に作業をすることを推奨いたします。

- ・リアサスペンション用サービスホール加工

【取付準備】

- ①車体ドア開錠と窓を全開にしイグニッションOFF（LOCK）モードでバッテリー（－）端子より車体ハーネスを外し3分間以上放置（③まで同時進行可）する。
- ②サイドシル補強部にリフトブロックを入れてアップ、またはジャッキを入れてアップしリジトラック（ウマ）をあてる。
- ③リフトアップまたはジャッキアップ状態の安全を確認する。



⚠ 注意

- ・ 指定した位置以外でリフトアップしないこと。
- ・ ボディに傷をつけないように注意すること。
- ・ リフト使用時は、必ずリフトの取扱説明書を参照し、安全に注意して作業を行うこと。
- ・ ジャッキアップ後は、必ずリジトラック（ウマ）を使用すること。
- ・ 短時間の作業でもジャッキのみでの作業は絶対にしないこと。
- ・ ジャッキアップのみで、車輻の下には絶対に入らないこと。
- ・ フロントをジャッキアップする時は、パーキングブレーキを必ず引き後輪に輪止めをすること。
- ・ リヤをジャッキアップする時は、ギヤをPポジションにいれ必ず入れ前輪に輪止めをすること。
- ・ エンジン停止状態でバッテリー（－）端子より車体のハーネスを外しておくこと。

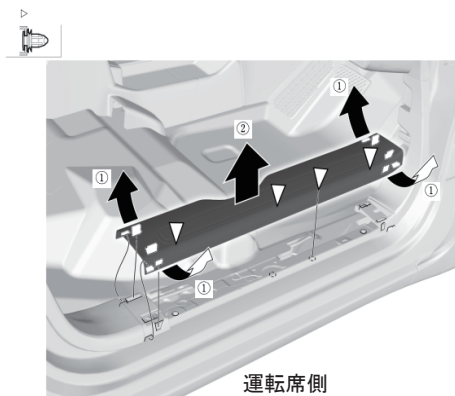
【I. 準備 - 純正部品の取り外し】

ロールケージ装着に際し、以下の部品をサービスマニュアルに従って事前に取り外す。
部品を取り外す際は車両にキズをつけないように養生をしっかりとって作業を行う。

- ・フロントサイドガーニッシュ
- ・リヤサイドガーニッシュ
- ・カウルサイドライニング
- ・センターピラーロアガーニッシュ
- ・カーゴフロアリッド
- ・リヤパネルライニング
- ・カーゴフロアカーペット
- ・ツールボックス
- ・カーゴボックス
- ・カーゴサイドライニング
- ・フロントシート+レールカバー（運転席、助手席）
- ・リアシート
- ・サンバイザ
- ・グラブレール
- ・グローブボックス

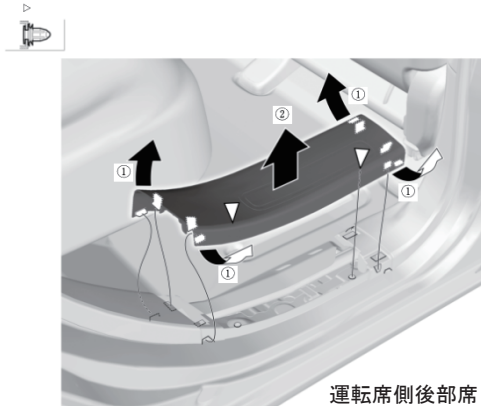
1. フロントサイドガーニッシュの取外し

- (1) 図の様に①→②の順で4ヶ所のクリップを破損しない様にゆっくり外す。（運転席側と助手席側）



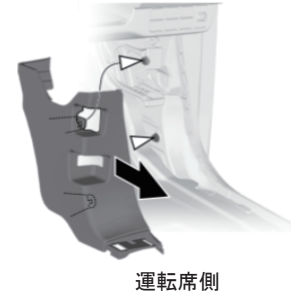
2. リヤサイドガーニッシュの取外し

- (1) 図の様に①→②の順で2ヶ所のクリップを破損しない様にゆっくり外す。（運転席側後部席と助手席側後部席）

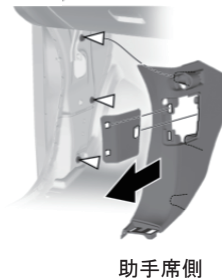


3. カウルサイドライニングの取外し

- (1) 図の様に2ヶ所のクリップを破損しない様ゆっくり外し、運転席側ライニング穴からボンネットオープンノブ及びフューエルリッドオープンノブを通してライニングを取り外す。



- (2) 図の様に3ヶ所のクリップを破損しない様ゆっくり外し、助手席側ライニングを取り外す。



4. フロントシート（運転席/助手席）の取り外し

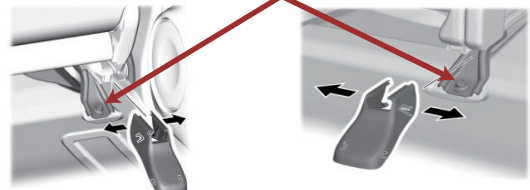
- (1) 両シートを後方いっぱいにはスライドさせて図の様に前方4ヶ所のレールカバーを破損しない様に外し、その後シートレールを固定している前方ボルト4ヶ所を取り外す。
(2) シートを前方いっぱいにはスライドさせて図の様に後方4ヶ所のレールカバーを破損しない様に外し、その後シートレールを固定している後方ボルト4ヶ所を取り外す。

運転席前方（2ヶ所）

助手席前方（2ヶ所）



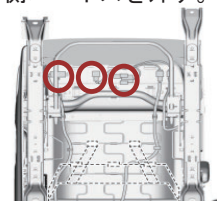
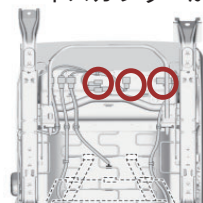
再組付け時締め付けトルク：43N・m



運転席後方（2ヶ所）

助手席後方（2ヶ所）

- (3) ヘッドレストを外してドアを全開にして運転席座面下と助手席座面下を覗くようにシート片側を持ち上げ○部の各ハーネススクリューから車体側ハーネスを外す。



助手席下面

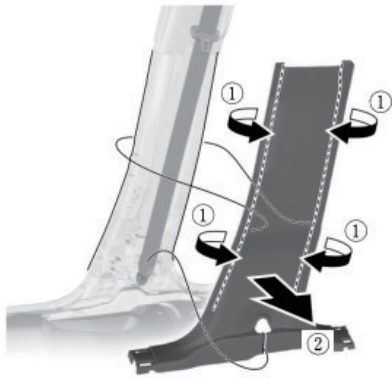
運転席下面

- (4) 各シートを持ち上げて車外へ出す。その際にシートレール先端等で車に傷を付けない様に十分注意する。

【I. 準備 - 純正部品の取り外し】

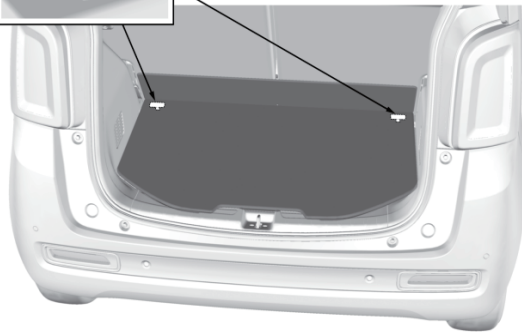
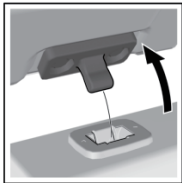
5 センターピラーロアガーニッシュの取外し

- (1) 左右のセンターピラーロアガーニッシュを図の様にめくりあげてガーニッシュを破損しない様に外す。



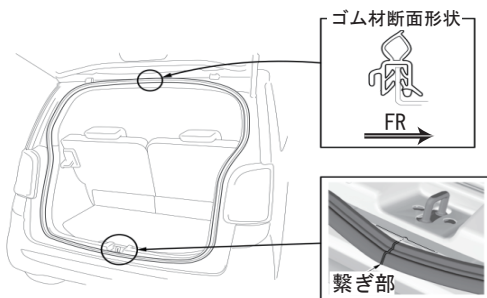
6. カーゴフロアリッドの取外し

- (1) 2ヶ所のクリップを外してカーゴフロアリッドを持上げて取外す。

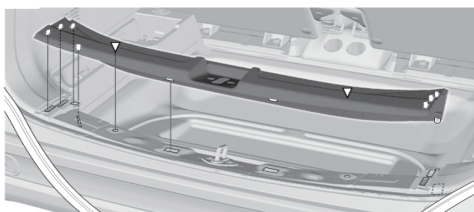


7. リアパネルライニングの取外し

- (1) テールゲートウェザーストリップ（黒ゴム防水シール）を図の下部中央繋ぎ部より左右にゆっくり剥ぎ取る。



- (2) 図の様にリアパネルライニングを破損しない様ゆっくり剥ぎ取る



8. カーゴフロアカーペットの取外し

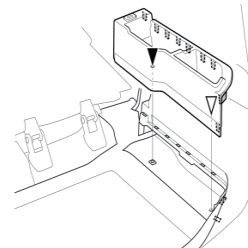
- (1) ツールボックスごと工具類を取り出す。



- (2) カーゴフロアカーペットを外す。

9. カーゴボックス（左右）の取外し

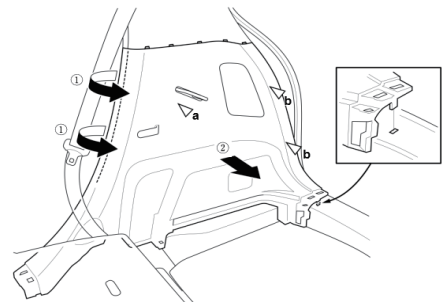
- (1) ボックス中央底部にあるビスを取りボックスを破損しない様に取り出す。



10. カーゴサイドライニング（左右）

の取外し

- (1) 図の様に端部を捲り上げて破損しない様に取り外す。



11. リアシート（左右）の取外し

- (1) リアシート座面を起こした状態で図の様に4個のクリップと4本のボルトを外し左右のシートを車外へ出す。その際、車内を傷付けない様に注意する。

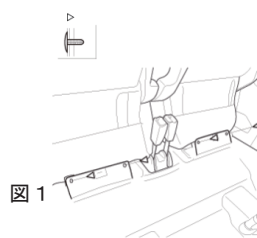


図 1

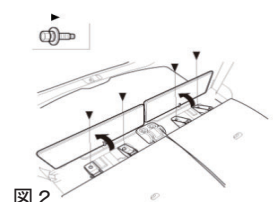
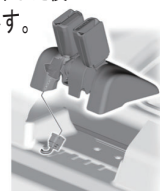


図 2

再組時のボルト締め付けトルク：22N・m

- (2) 2本のボルトを外しハーネスブラーを外した後
リアシートベルトバックルを外す。

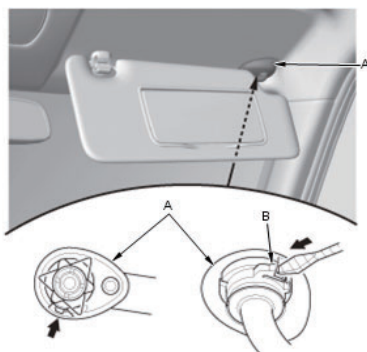


再組時のボルト締め付けトルク：32N・m

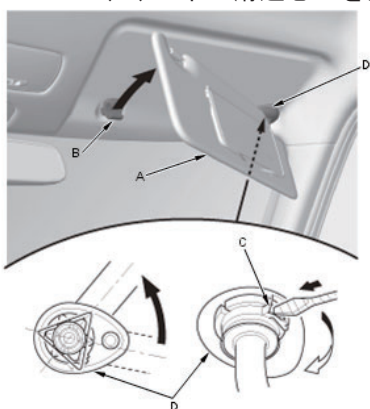
【I. 準備 - 純正部品の取り外し】

1 2. サンバイザ（運転席、助手席）の取外し

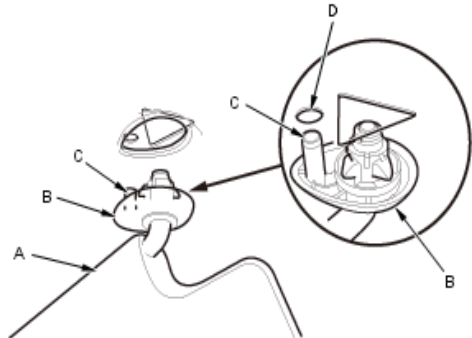
- (1) ベースカバー（A）前側の切欠きからマイナスドライバなどを差込、ベース部のつめ（B）を押す。



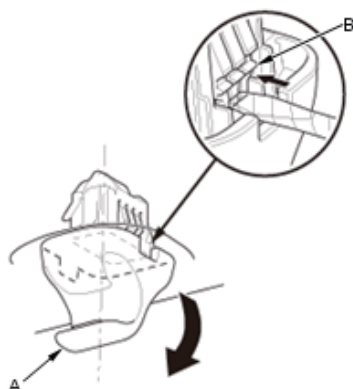
- (2) サンバイザ（A）をホルダ（B）より外して45°回転させ、フック（C）が回転しながらベースカバー（D）の中に滑込むを確認する。



- (3) サンバイザ（A）を下げてベースカバー（B）のピン（C）をボディの穴（D）より外す。



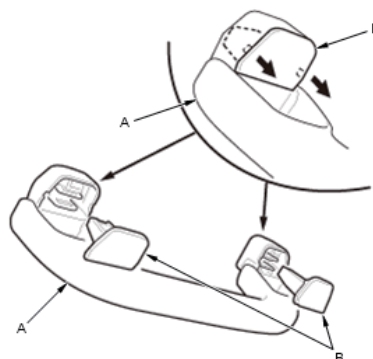
- (4) ホルダ（A）の左右の穴の一方にマイナスドライバを差込みホルダの爪（B）に押し当ててボディから外す。



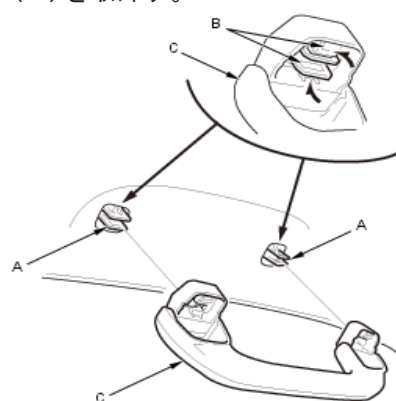
1 3. グラブレールの取外し

（運転席側、助手席側）

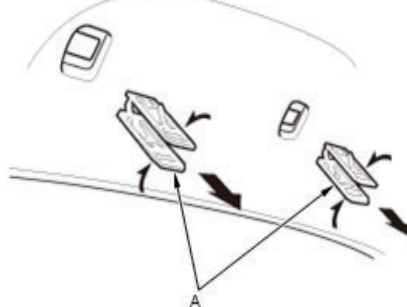
- (1) グラブレール（A）を下げ、ストッパー（B）を取外す。



- (2) クリップ（A）をつまんで、フック（B）を外し、グラブレール（C）を取外す。

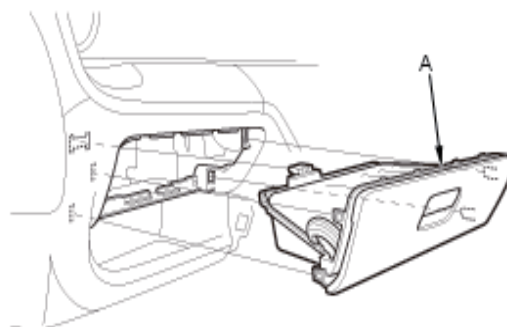


- (3) ラジオペンチ等を使用し、クリップ（A）を引出して取外す。



1 4. グローブボックスの取外し

- (1) グローブボックス（A）を引き出し、取外す。
(2) グローブボックスの蓋を外す。



【Ⅱ. 準備 - 純正部品の加工】

カーテンサイドエアバッグ、及びシートサイドエアバッグの作動停止する。

【理由】

ロールケージの装着により、カーテンサイドエアバッグ、及びシートサイドエアバッグの使用が不可となるため、エアバッグの誤作動を起こさないように作動を停止させる。

※作業前に再度バッテリー端子（－）からハーネスが外してあることを確認する。

1. カーテンサイドエアバッグの作動停止

- (1) 左右のカーゴサイドライニング裏側の位置にあるカーテンサイドエアバッグの配線を切断し作動を停止させる為、写真①～④の順で ②コネクタで①ワーニングランプキャンセラーを取付ける。

※切断した配線端部は必ず絶縁処理を行うこと。
(下記写真は左後部)



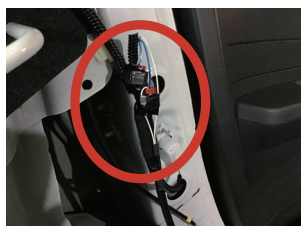
①配線の切断部確認



②配線を切断

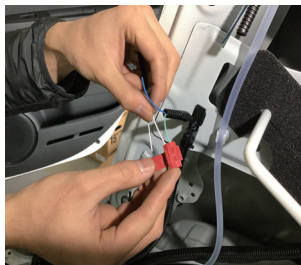


③配線（電源側）にコネクタでキャンセラーを結線する。エアバッグ側配線も絶縁処理して固定しておく。



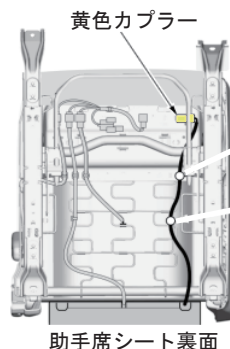
④配線絶縁処理と固定。

- (2) 右後部も同様にコネクタでキャンセラーを結線し絶縁処理後、固定する。（下記写真は右後部）

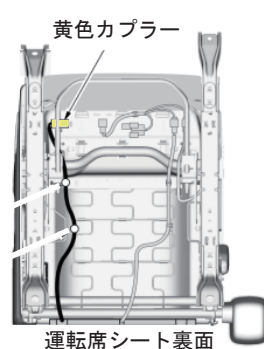


2. シートサイドエアバッグの作動停止

フロントシート下にあるシートサイドエアバッグのカプラーを外し、作動停止させる為、両シート裏の黄色カプラーに接続していた車体側黄色カプラー配線側へ②コネクタを使い①ワーニングキャンセラーを接続する。

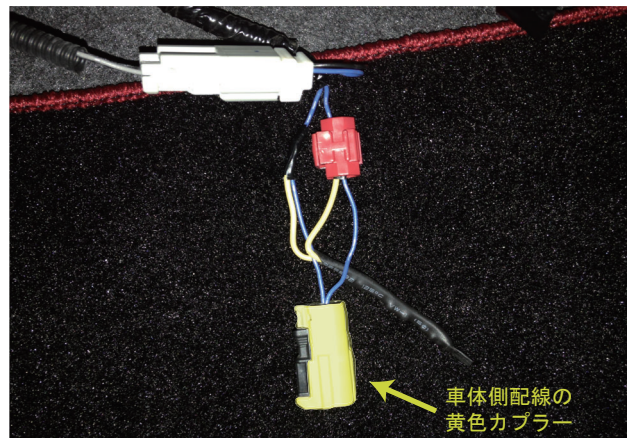


助手席シート裏面



運転席シート裏面

- (1) 車体側シートサイドエアバッグ配線の被覆を剥がし②コネクタを使い①ワーニングランプキャンセラーへ下の写真のように取付ける。その後、絶縁処理も行う。



車体側配線の黄色カプラー

- (2) ロールケージを装着後、シートレールを取り付けた後、配線とカプラーをタイラップ等でシートレールに固定する。
(本作業はロールケージ装着後のシートレールへ行う)



車体側配線の黄色カプラー



※使用過程において②コネクタ部の接触不良が発生した場合、②コネクタを使用せずに半田付け等で結線し絶縁処理を確実に行ってください。

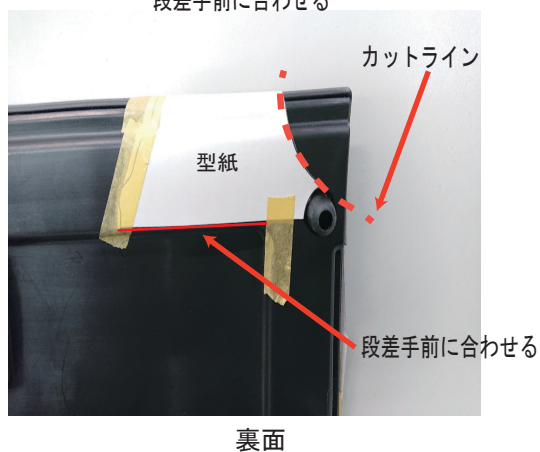
【Ⅱ. 準備 - 純正部品の加工】

純正部品の加工

【注意】・カット面はヤスリ等で滑らかに仕上げる。

1. グローブボックスの加工

- (1) 同梱の型紙を切抜きその後、グローブボックス蓋（裏側）写真の位置に合わせ貼り付ける。その後ロールケージが干渉する部分（●●●●点線部分）をカットする。



グローブボックスクローズ状態

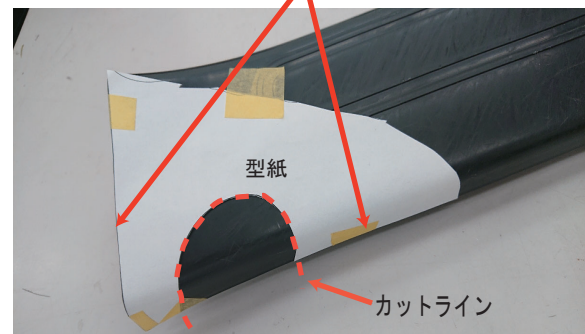


ロールバー取付後のグローブボックスオープンイメージ（※部ロールバーと干渉無き事）

2. フロントサイドガーニッシュの加工

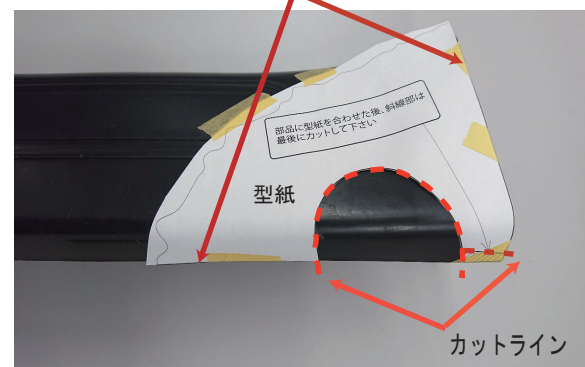
- (1) 型紙を使い同様にフロントサイドガーニッシュへ位置を合わせ貼り付け、ロールゲージが干渉する分（●●●●点線部分）をカットする。

外周輪郭を合わせる



運転席側

外周輪郭を合わせる

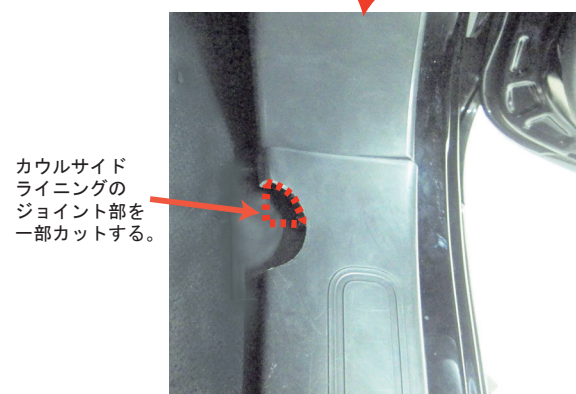


助手席側

3. カウルサイドライニングの加工

- (1) 下の写真を参考に、カットした運転席側のフロントサイドガーニッシュとカウルサイドライニングを仮組みし、運転席側のカウルサイドライニングとロールゲージが干渉する部分（●●●●点線部）をカットする。

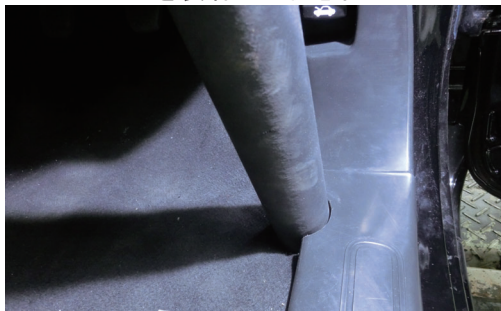
カウルサイドライニング



カット済みフロントサイドガーニッシュ

【Ⅱ. 準備 - 純正部品の加工】

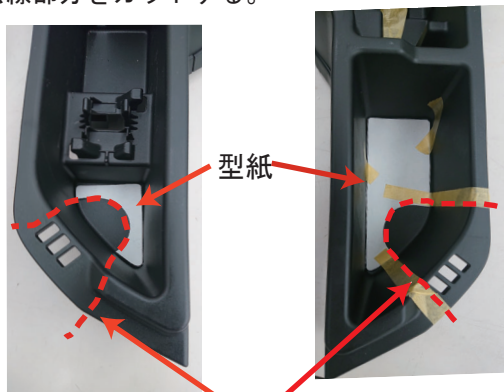
カウルサイドライニングとフロントサイドガーニッシュを装着した状態。



ロールケージ装着イメージ

4. カーゴボックスの加工

- (1) 同梱の型紙を左右のカーゴボックス内側底部に位置決めした後、貼付けロールケージが干渉する上方点線部分をカットする。



左側

カットライン

右側

カーゴボックス側面は底面のカットライン端から垂直に立ち上げたラインでカットする。

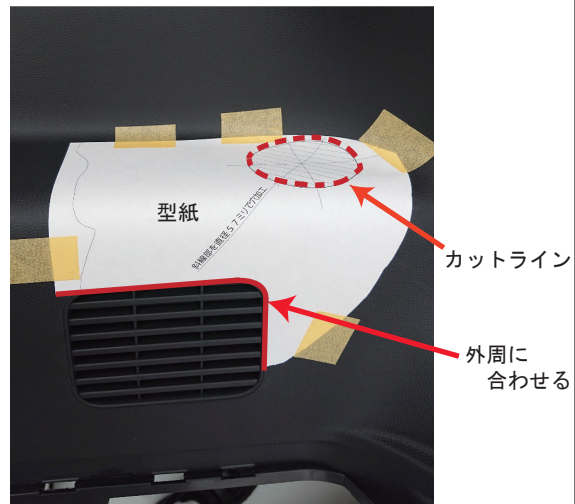


ロールケージ装着イメージ

5. カーゴサイドライニングの加工

下の写真を参考に、右側のリアダンパー用サービスホール用の穴あけを行う。
ロールケージの取付けに必ず必要な工程ではありません
しかし、サスペンションの脱着や調整時の為に穴明を推奨します。

- (1) 型紙を換気口外周に沿わせ位置決めし、破線部Φ57の穴をあける。



ロールケージ装着イメージ

【参考】

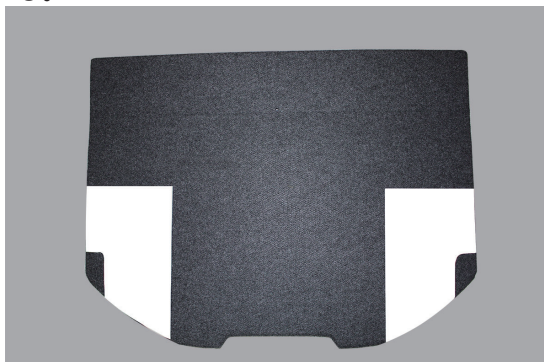
左側のリアダンパーメンテナンスは、カーゴサイドライニングのメンテナンスリッド（.....点線部）を外して行う。



【Ⅱ. 準備 - 純正部品の加工】

6. カーゴフロアリッドの加工

- (1) 型紙を使い、カーゴフロアリッド内部板材をカットする。



- (2) カットする部分のカーペットを剥がし、型紙に沿ってカーゴフロアリッド板材部分をカットする。



- (3) 余分なカーペット材を端面に巻き、板材へ接着する。



ロールケージ装着イメージ

【Ⅲ. ロールケージの装着】

1. ロールケージの仮組み

【組立て手順】

※ロールケージの各連結部は⑳六角穴付ボタンボルト M10×55×26と㉑M10平ワッシャー、㉒M10 Uナットで取付けるが、仮締め状態とする。

ボルトの差込向きはP13を参照。

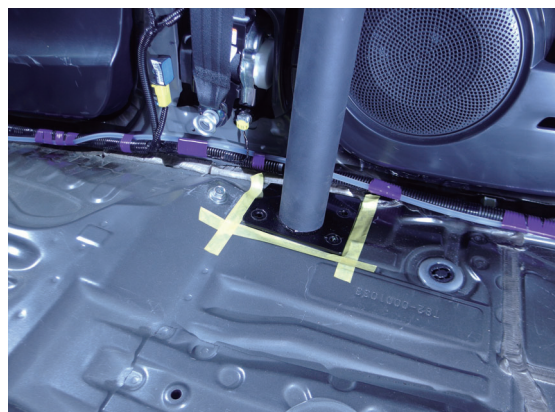
- (1) ジョイント部分のロールケージパッドをめくり、ボルト締めが容易に出来るように準備する。



- (2) フロアカーペットを中央で丸めてテープ等で束ねる



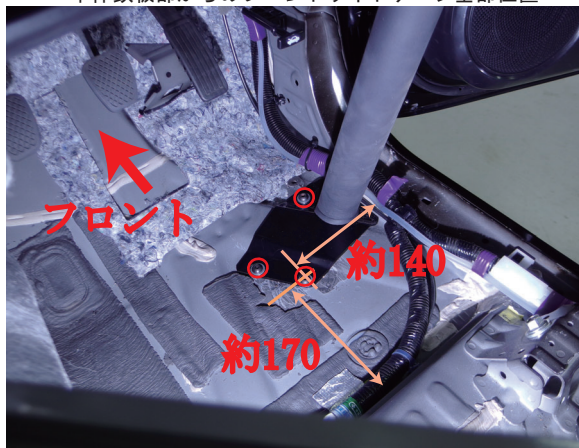
- (3) 車内に①メインケージを入れ、基部（プレート）の位置をあわせ仮置きする。



【Ⅲ. ロールケージの装着】

- (4) ①メインケージに②③フロントサイドケージを取付ける。
下の写真を参考にして基部（プレート）位置を決める。

車体鉄板部からのフロントサイドケージ基部位置



- (5) ④⑤リアサイドケージを①メインケージに取付け、下の写真を参照にして基部（プレート）位置を決める。



リアサイドケージ基部位置

- (6) ⑥フロントアッパーケージを②③フロントサイドケージ左右に取付ける。
(7) ⑦リアアッパーケージを④⑤リアサイドケージに取付ける。

- (8) (1)～(7)工程後、全てのケージが車内に仮組みされた状態で以下の確認を行う。

フロントシート（運転席）を取り付け、運転席を以下の位置に合わせて乗車し②③各フロントサイドケージが下の写真の赤矢印範囲内に収まっていることを確認する。

②③各フロントサイドケージがフロントウィンド/左右ドアガラスの視界を妨げていないこと

- ・シートスライド：最後端
- ・シートリクライニング：後方約25°
(シートにリクライニング機能を備えているもの)
- ・シートハイト：中間又は中間に近い下方
(シート、シートレール等にハイト調整を備えているもの)

※運転席をバケットシート等に変更した場合も上記の条件で確認を行うこと。また、赤矢印の範囲内に収まらない場合は、(3)(4)(5)工程の基部（プレート）位置を確認し同範囲内に収まるよう調整する。

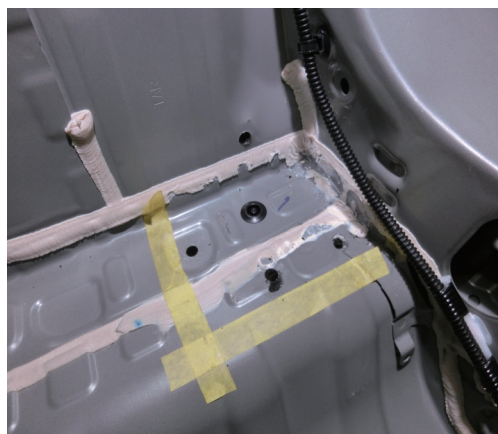
運転席側の前方視界



運転席からの視界において助手席側ケージも同じくはみ出し無きこと
【必ず厳守してください】

- (9) (8)の確認後、各ロールケージの位置が決まったらフロアに穴位置をマーキングする。

- (10) マーキング後、ロールケージを外して一旦車外に出す。



- (11) 基部部分、補強板部分（フロア表裏、リアホイールハウス）のシール材等を切除する。

- (12) (9)でフロアにマーキングした18カ所にφ8.5mmドリルで穴あけをする。この時フロア裏側にドリルでキズつけるものが無いか確認する。
穴あけ後、バリ、切り粉を取り除き、タッチアップペイントを塗布する。

- (13) 外したグローブボックスとカーゴライニングを取付ける。

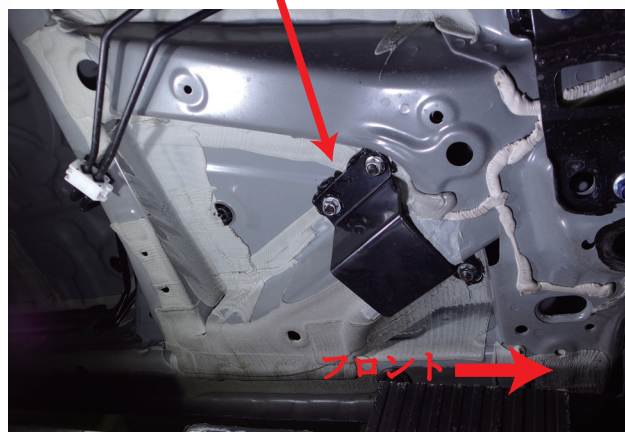
2. ロールケージの本組み

- (1) 仮組み時の要領でロールケージを車室内に組み入れ、ボルト、ナットで仮締めする。

- (2) 補強板の穴周りにシリコンのシーラーを塗布し、塗布した面がフロア裏側に接するようにして下側より⑮六角穴付ボタンのボルトM8×25、⑯M8平ワッシャーを差込、上側（車室内側）より⑰M8 Uナット、⑱M8平ワッシャーで仮締めする。

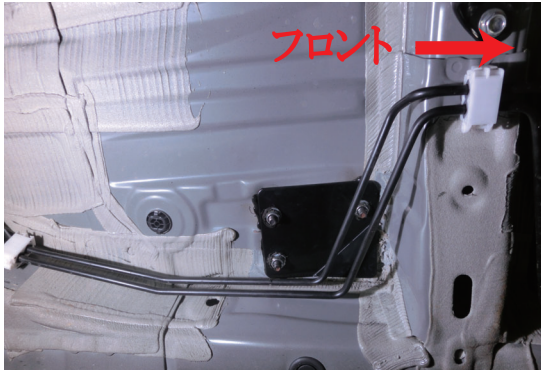


シーラー塗布



車体下面の⑧補強板 A（左側）取付イメージ

【Ⅲ. ロールケージの装着】

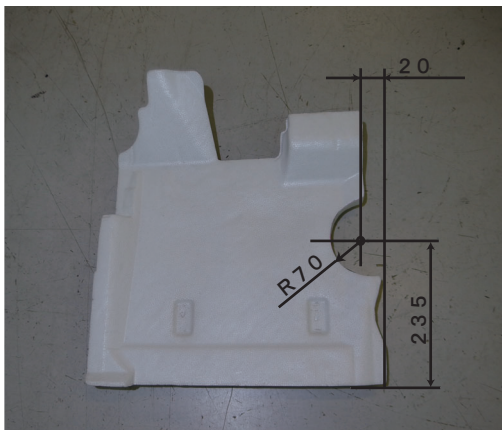


メインケージ ⑨補強板 B 左

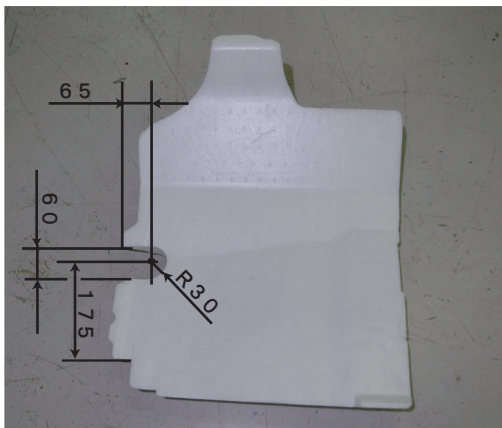


リアサイドケージ ⑩補強板 C 左

- (3) 各部が仮締めできたら、ボルト、ナットを本締めし、確実に取付けられていることを確認する。
- (4) ボルト、ナットを本締め、1. ロールケージの仮組み (8) の確認作業を行い、範囲内に収まらない場合は同工程の調整作業を行う。
- (5) 下の写真を参考に、運転席と助手席側のフロントフロアスペーサーをカットする。



運転席側 R70 でカット



助手席 R30 で切り抜き幅 60 でカット

- (6) ロールケージとカーペットが干渉する部分に切り込みを入れる。



- (7) 運転席と助手席のフロントフロアスペーサーを取付位置へ戻してカーペットを敷きなおす。



- (8) ⑦リアアッパーケージ取付向きを確認を行う。



天井形状にリアアッパーゲートケージに沿っていること

- (9) ロールケージパッドを戻す。



- (10) 取り外した手順と逆に、外した内装部品を取り付ける。

※サンバイザー、フロントグラブレールは取付け不可
取り外した純正部品は大切に保管してください。

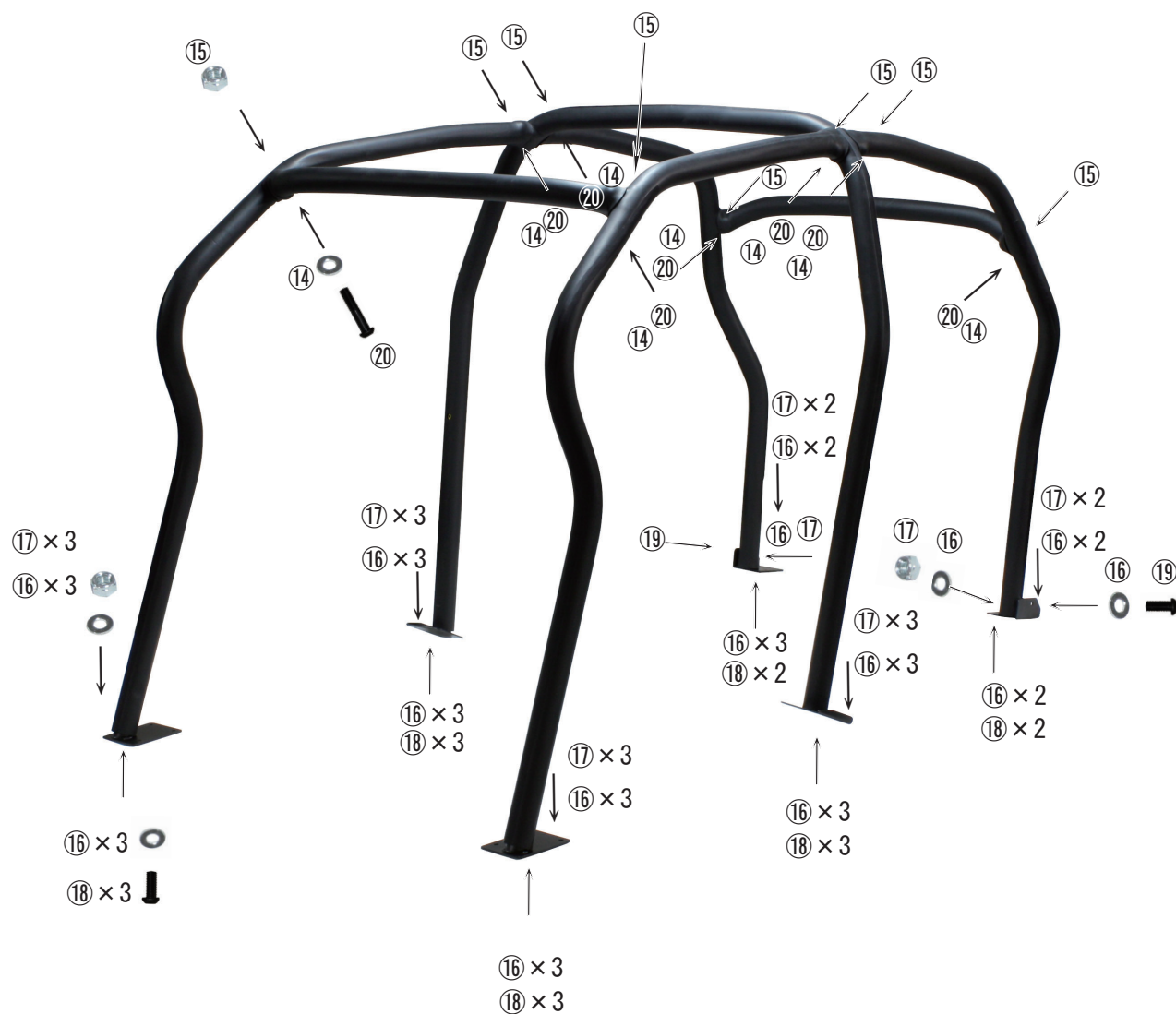
- (11) シートレールを装着後、シートサイドエアバックの配線加工部をシートレールヘタイラップ等で固定する。

- (12) ゆっくりと車体をリフトダウン（ジャッキダウン）した後、各組付状態を確認しバッテリー端子（－）へ外したハーネスを端子へ締め付け固定する。

【Ⅲ. ロールケージの装着】

ボルトの差込向き

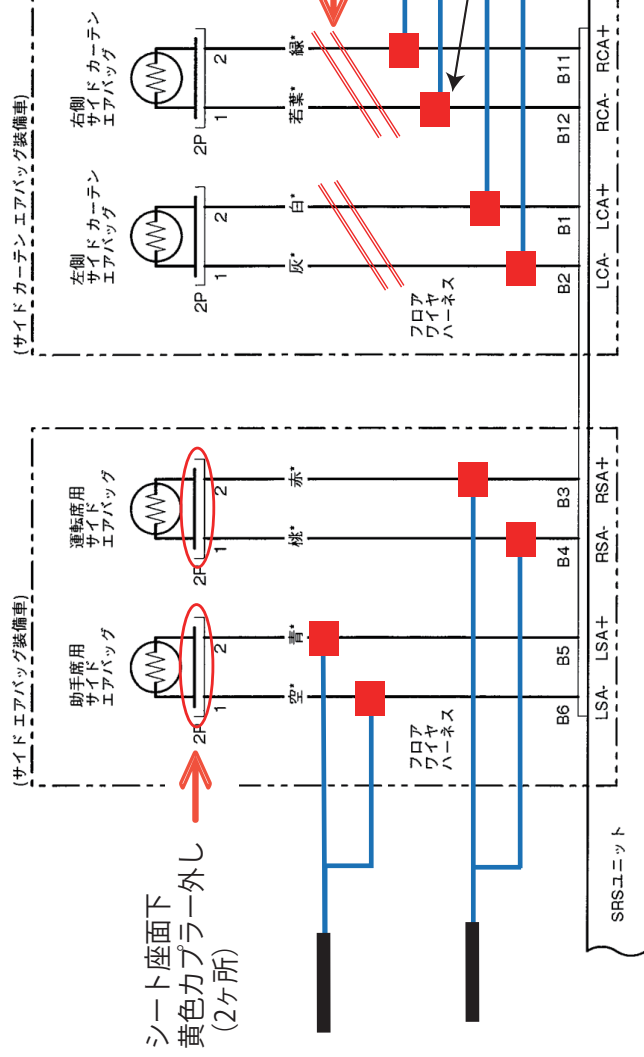
- ⑭M10平ワッシャー
- ⑮M10Uナット
- ⑯M8平ワッシャー
- ⑰M8Uナット
- ⑱六角穴付ボタμβoltM8×25
- ⑲六角穴付ボタμβoltM8×30
- ⑳六角穴付ボタμβoltM10×55×26



【付則：サイドエアバッグ、サイドカーテンエアバッグ 警告灯キャンセル装着施工】

(ロールオーバー装着によりサイドエアバッグ、サイドカーテンエアバッグの作動を妨げる為、同部品の機能を停止し警告灯の点灯をキャンセルする)

【左右同様施工】



1, サイドエアバッグ

- ①運転席、助手席下部にサイドエアバッグのカプラーを外し作動を停止する。
- ②ワイヤハーネス側にキャンセルをコネクターにて結線する
- ③エアバッグシステム警告灯の消灯を確認

2, サイドカーテンエアバッグ

- ※ 内装の脱着作業を行うため、ロールオーバー装着前に施工を行うことをお勧めいたします。
- ①左右サイドカーテンエアバッグへの配線をカットし作動を停止する。
 - ②ワイヤハーネス側にキャンセルをコネクターにて結線する
 - ③エアバッグシステム警告灯の消灯を確認

色指示のある配線は、製造メーカー任意の色に変更している場合がある